



商店街振興の視点からみた 支援機関に期待する役割

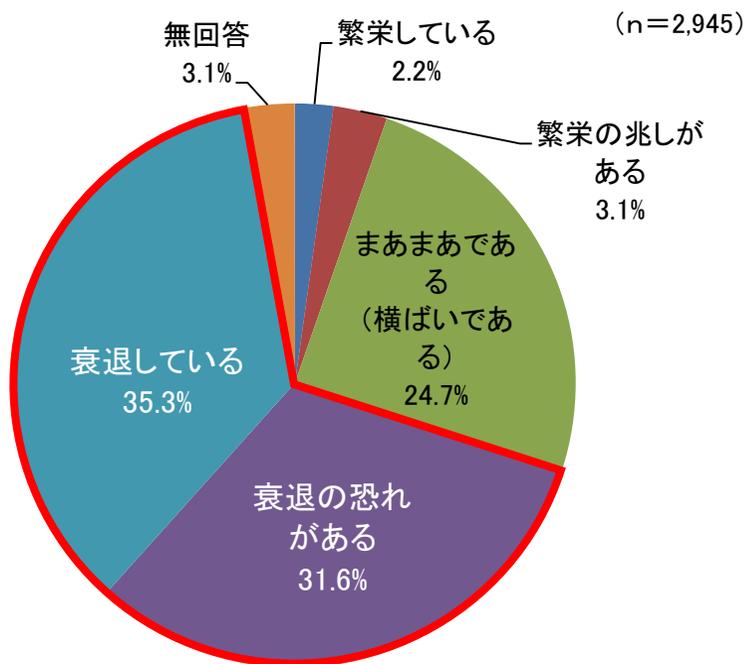
平成 2 9 年 4 月 1 3 日

中小企業庁

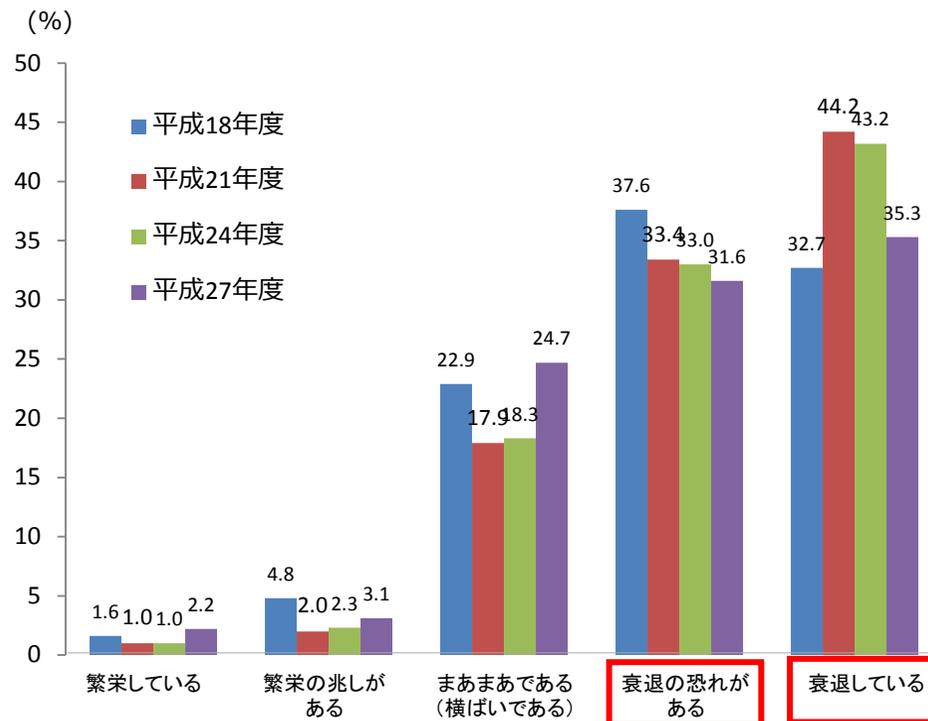
商店街の現状

- 商店街は、小売業全体の年間販売額の約4割を占め、215万人の雇用を支える存在。しかし、商店街に対しアンケート調査した最近の景況は、**「衰退している」「衰退のおそれがある」が66.9%**と厳しい状況におかれている。

商店街の最近の景況（平成27年度）



商店街の最近の景況（年度ごとの推移）



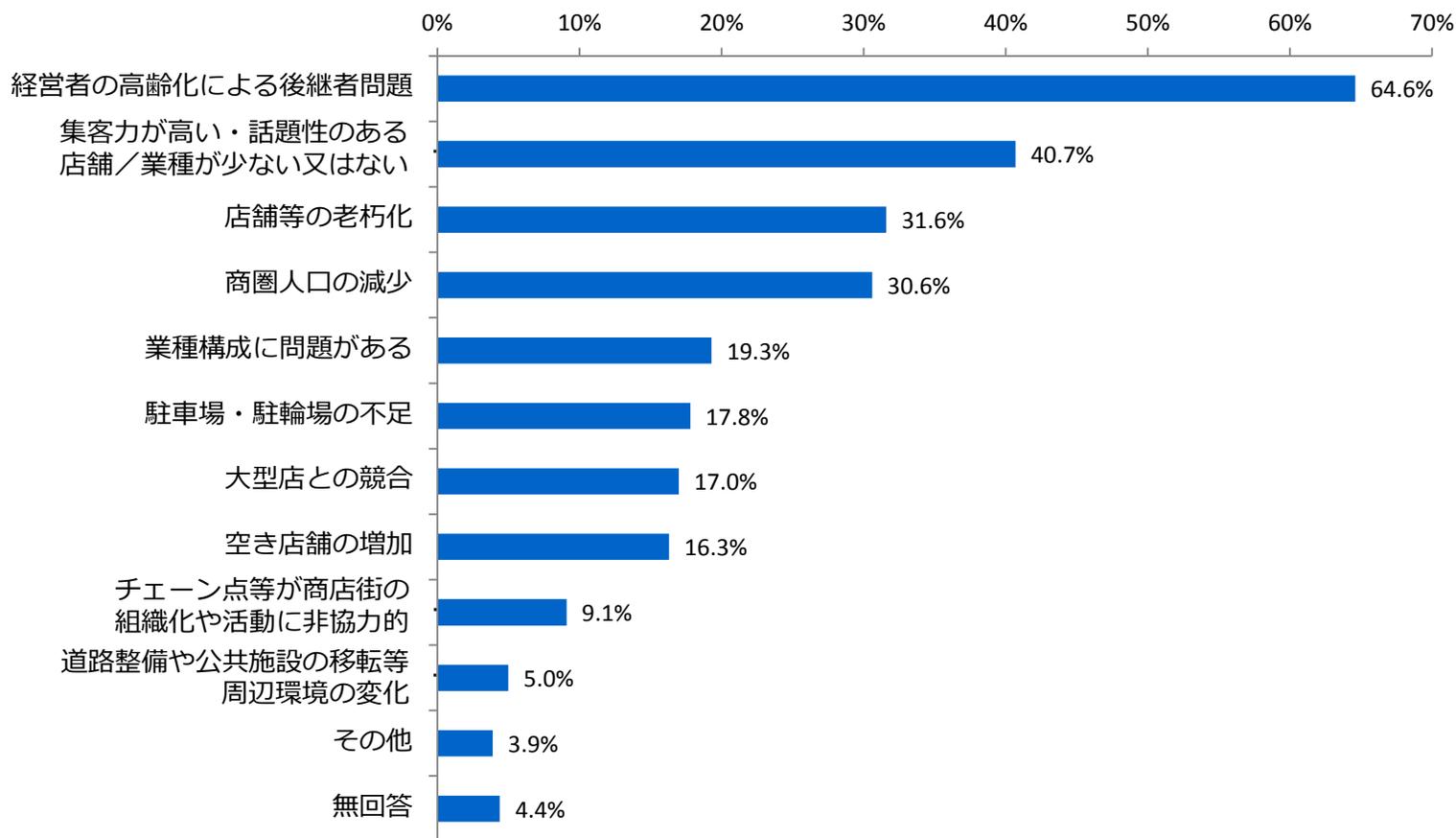
資料：中小企業庁委託「平成27年度商店街実態調査」（平成28年3月）

資料：中小企業庁委託「平成18年度商店街実態調査」、「平成21年度商店街実態調査」、「平成24年度商店街実態調査」、「平成27年度商店街実態調査」

商店街における問題

- 商店街における問題で最も多いものは「経営者の高齢化による後継者問題」。続いて「集客力が高い・話題性のある店舗／業種が少ない又ははない」となっている。

商店街における問題【複数回答（3つまで）】（n=2,945）

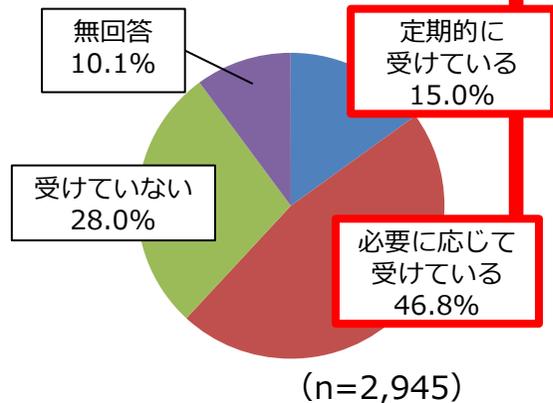


支援機関の活用状況

- 支援機関から助言・指導を受けている商店街は61.8%。指導（助言）を受ける機関は、「商工会・商工会議所」、「市町村役場」が多い。
- 支援機関による助言・指導の内容は「補助金情報（内容、申請方法等）について」が最も多い。続いて「個別イベント・事業の計画について」、「他の商店街における成功事例等情報の提供について」となっている。

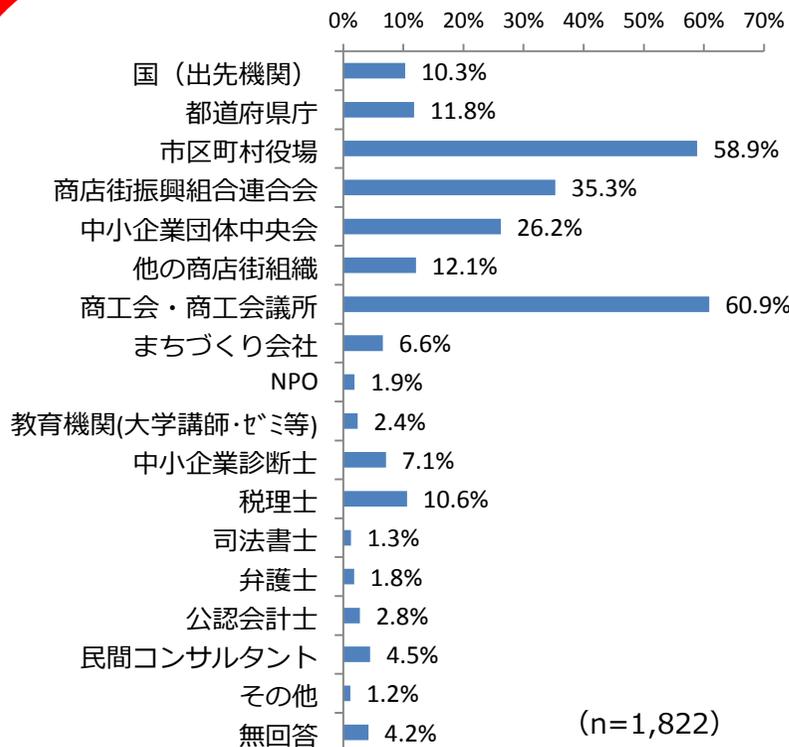
※「受けている」と回答した商店街のみ回答

支援機関の活用状況



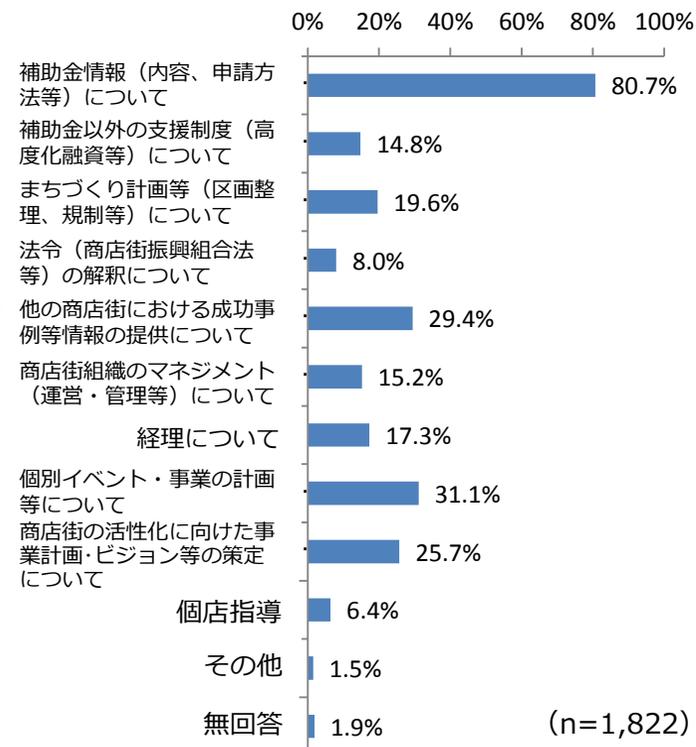
指導・助言を受けた機関

【複数回答（いくつでも）】



指導・助言を受けた内容

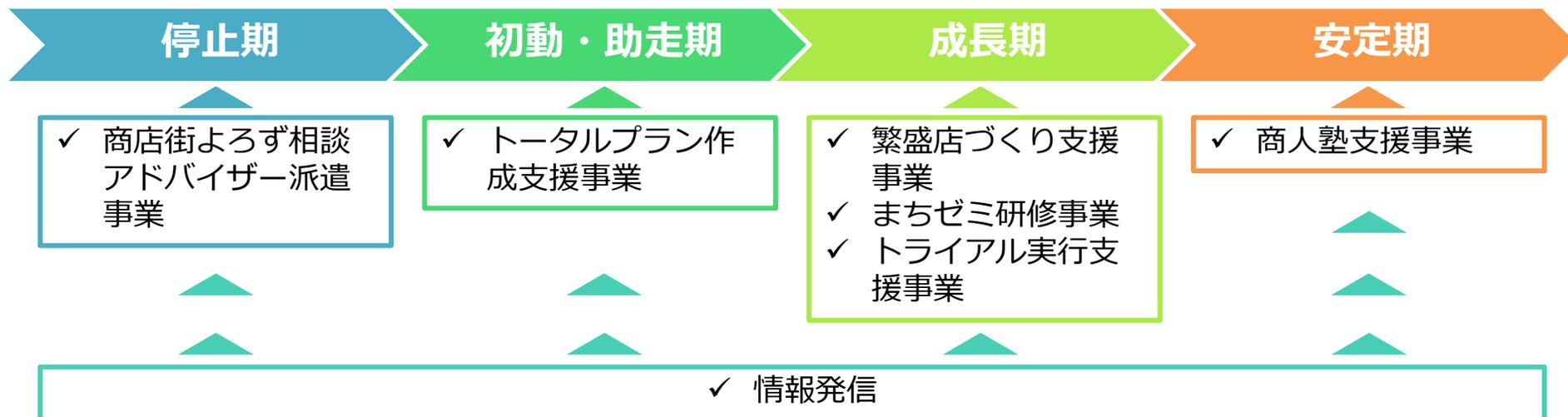
【複数回答（いくつでも）】



(株)全国商店街支援センターによる支援

- (株)全国商店街支援センターは、商店街再生・活性化に係る多様な専門人材の活用などを通じて商店街支援のノウハウを結集させ、人材育成や支援人材の派遣によるハンズオン支援やノウハウの提供を行うため平成21年4月に設立された支援実践組織。
- 商店街の人材育成や、ビジョン・プラン作成、商店街へのアドバイザー派遣などの事業を行い、これまで延べ約2,200商店街を支援。
※現在の事業費原資である基金による事業期間は、平成30年度末までとなっている。

全国商店街支援センターによる商店街のステージごとの支援メニュー



「新たな商店街政策の在り方検討会」における検討

- 「新たな商店街政策の在り方検討会」は、既存のアプローチに囚われず、**地域の経済循環の中心となり得る商店街を生み出す**新たな商店街政策の在り方を検討するため、平成28年12月に立ち上げた有識者会議。
- 本検討会において、**今後のあるべき支援の姿**についても議論を行っており、次回で中間取りまとめを行う予定。

主な検討内容

(1) 商店街の必要性

- 地域における商機能の担い手が商店街である必要性は何か。
- 地域内で経済を循環させ、また、将来にわたって地域の買い物機能を維持するためには、どのような主体が商機能を担うべきか。

(2) 求められる商店街

- 今後、「地域に求められる商店街」はどのような姿になっていくのか。
- 商店街が求められる姿が変わるためにはどのような取組を行えばよいのか。

(3) 稼げる商店街

- 商店街と商店街内に立地する個店の両方がきちんと利益を上げ、事業を継続していける環境を確立するには、どのような取組が必要か。

(4) **あるべき支援の姿**

- 商店街の活性化のためには、今後どのような支援策を取るべきか。
- どのような支援体制が効果的か。

検討会における議論を踏まえた支援機関に期待する役割

- これまでにいただいた御意見を整理すると、商店街に対する支援は、主に商店街という空間に対するものと、商店街内の個店に対するものに分けられる。支援者は、その商店街に必要なものを見極め、空間に対する支援と個店に対する支援を効果的に組み合わせることが必要ではないか。
- また、その商店街の目指すべき姿や規模、ステージを考慮し、商店街が必要な時に必要な事を選択できるよう客観的な助言を行うことが必要ではないか。

新たな商店街政策の在り方検討会においてこれまでにいただいた主な御意見

<主な御意見>

その商店街に必要なものを見極め

自分の商店街を分析して課題を洗い出し、それを克服することに取り組むことが必要。

代謝が起こっていく商店街が、求められる商店街のイメージの一つではないか。

<主な御意見>

商店街支援は、場所に付加価値をつけていくことが大事ではないか。

経営的な支援を持ち、消費者に必要なものが含まれている商業集積にすることが必要。

商店街という空間に対する支援

<主な御意見>

強い個店をつくるということを意識しなければ、商店街がもたなくなってきた。

起業や新しいことを起こしていくサポートが、商店街という空間をよみがえらせる一つの策になるのではないか。

商店街の中の個店に対する支援